

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	251004	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
APEX・JJAP の国際発信力の強化		公益社団法人 応用物理学会	会長 河田 聡
学術刊行物の名称			(略称)
Applied Physics Express / Japanese Journal of Applied Physics			APEX / JJAP

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>APEX の投稿数及び APEX・JJAP 両誌のダウンロード数の増加や問題点への対策等が具体的に示されており、全体としては高く評価できる。</p> <p>しかし、(1) 2011 年に APEX のインパクトファクター (IF) が 3 を超えていたが、本取組後の IF は 2 点台に低下していたこと、(2) JJAP の海外からの投稿数が平成 23 年度に比べて落ち込んでいたことに対する要因分析が曖昧に感じられるため、更なる状況分析を行い対策を講じる必要がある。</p>	